

見付地区体育部

見付地区は50年誌にも述べたとおり見付公民館の発足以来、見付地区の26自治会推薦により4専門部が組織され、体育振興部もその1つである。各専門部は公民館の活動を全面的に援助する目的で設立された公民館運営協議会直属の組織である。

見付地区は、市立の小学校2校・中学校1校を有し、約8千世帯の体力づくりと地区のスポーツ活動振興及びコミュニティづくりを図るべく、見付地区体育祭・グラウンドゴルフ大会・ウォークラリー大会が実施されており、今年で26回目を迎え歴史の重みを感じさせる。

①見付地区体育祭

見付地区26自治会（町）の就学前の幼児からお年よりまで幅広い年齢層の人約千名が参加しての、町内対抗の体育祭である。

26年の歴史を重ねるうちに幾多の変遷を経て現在は、球入れ・順送球・長縄飛びの三種目に固定されるようになった。

特別種目として、小学生以下200名を対象にしたパン食い競争も行なわれている。

運営は体育振興部員によって行なわれるが数年前から城山中学生在がボランティアとして25名～30名が参加しており、地域の住民とのふれあいの場ともなっている。

体育振興部員が運営上最も留意している点は、26町内が一同に会する場は体育祭のみであり、勝敗よりも互いの情報交換と親睦を深め理解しあう場の提供である。



（平成20年度見付地区体育祭）

②ふるさと見付ウォークラリー大会

毎年5月上旬に行なわれる本大会は、ふるさとの歴史や文化を再発見し郷土愛を育むことを目的に開催されるようになった。

この大会は、広域で行なっており子供からお年よりまで家族単位・グループ及び個人参加も可ということで誰でも気軽に参加できるように配慮されている。また、本大会はタイム競争ではなく、指定されたポイントを地図を見ながら訪ね巡り、その場で出されたクイズを解く競技である。

この大会の運営には、参加者の安全を第一に考えて、青少年健全育成部と共催して行なっている。さらに城山中学生にも、ボランティアとして参加してもらい、参加者との交流を図ると共に、ふるさとを見直す機会になっている。



（平成20年度ウォークラリー大会）

③グラウンドゴルフ大会

各地で盛んに行われているグラウンドゴルフを見付公民館でも毎年6月に体育振興部主催で実施しており、住民の体力向上と親睦に寄与している。

参加者は60代～90代が主で、高齢化社会を実感させられるが、底辺を広める努力をして愛好家の増加を期待している。

④その他

現在見付公民館を基点として活動しているスポーツ団体は、41団体あるがスポーツが広域化する中、地域の活性化の為にスポーツ、また、趣味の多様化と高齢化社会を迎え、それに対応出来るニュースポーツの普及を今後考えていく必要があろう。